

# 小須戸公民館報

町館信 戸常信 須中公 小中央 發行所 成田 發行日 毎月15日 印刷所 昭栄堂印刷所

## 婦人特集



### 3回目を迎えた婦人研修会

～ 婦人の地域社会における役割について考える ～

3月2日(日) 中央公民館において (今回のテーマは冠婚葬祭について)

人の地域社会における役割」について講演と、初めて顔を合せた各婦人団体の活動状況、集まりの目的及び歴史等の紹介があり、これを機会に町の婦人の方々が一同に会し婦人として住み良い町づくりと心の一致をみて終了しました。

### 知られていない 地域の実状

各地区の実践発表

#### ◎みずほ会(矢代田第五常会) よりの報告

これは私達区域内だけですが、病児見舞は付き合いか病気の長さとかで額は決まっております。見舞のお返しもしていません。通夜のおまんじゅう、おこわは、親戚の方が通夜の為に持って来たものでおあげします。香典の金額は決っております。香典のお返しは、ハガキと砂糖一箱ずつ返します。

#### ◎横川婦人会より報告

五十年に連合婦人会よりお話があり、婦人会と行政と一体となり区長さんの方で話し合いがなされ決められました。見舞の返礼はしない申し合せは守られています。通夜は挨拶できま

#### ◎水田婦人会より報告

見舞のお返しは、部落総会で申し合せして一斉にしないと決まりました。また通夜の酒とおまんじゅうは出さないことになり、お返しも、ハガキと砂糖はやめましたので、大変良い事が決まりました。大変良い事が決まりました。一人でも反対者や外からもらったから返すと云う人がいると困りますが、五十七年に決めて一斉に守るようになりました。

#### ◎新保婦人会より報告

五十年に婦人会より部落総会に提案し、五十一年に決まり部落内に適用しております。見舞の返礼はしません。通夜は来ていただいた方におまんじゅう五

### 新しい考え方で運動を

討議の中から

○病気にお金を使ったあとです。で返礼はしないようにお願いしたいです(矢代田分館婦人会) ○費用をいくらか安くしようとして、新津農協の誘いで葬儀の時の道具のあつせんの話が出ています。(農協婦人会) ○町一体として運動を進めてほしいです(横川婦人会) ○町部では適当に返礼をしていいです。葬儀なども同じで、決められた事項もなく適当にやっています。

県婦人会でも簡素化が取り上げられており、これは小須戸町だけでなく全県的な傾向にあり、更に全国サイドでも取り上げられております。中でも秋田県でよく行なわれているということをお話を聞く機会がありました。内容の要点は次のようでした。

○この問題は、私達だけで決められませんので持ち帰って行政を主体にしてやった方がスムーズにいくかと思っております。 ○部落は区長制があり(選挙で選ばれる)区長が中心になって運動を進めますが、町部では嘱託員制でうまくいかないのでは。

### 課題のまとめとして

- ①各地区の中で冠婚葬祭についての申し合せ事項が確立されているところは、より一層話し合いを進め、その他にできる所を手掛ける。
- ②申し合わせができていない地区は、どうしてできないのかの原因を考え、その解決の話し合いをもつ。
- ③地域の人びとがみんなで話し合っただけで一部の意見を無視することなく進める必要がある。



「国際婦人年」から十年が過ぎ去り、「男女平等を基本とするあらゆる分野への婦人の参加母性の尊重及び健康の擁護等」女性をめぐる社会的環境に変化がみえ、女性の生活、意識が変容しつつあります。近年の社会のあらゆる分野への女性の進出は目ざましいものがあります。公民館を中心とした学級、講座、教室や行政への参加は年々多くなってきました。

二年より婦人団体の総合的研修の場として婦人研修会が開催されております。第一回研修会は、県社会教育協会の古津勝栄先生を迎え「婦

約三時間にわたる研修会には有意義なものとなりました。

# 婦人懇談会

## —町長と語る会—

公民館主催による婦人懇談会が、去る二月二十七日(木)午後七時より九時までの二時間、中央公民館を会場に開催されました。

小須戸町には、明るく住みよい地域づくりのために活動している婦人団体がたくさんあります。その中のいくつかの婦人団体の代表の方々に集まっていただき、これからの小須戸町を考えようという事で懇談会を計画いたしました。

この懇談会では、日常生活の課題などから、小須戸の婦人の皆様はどんなことを考え、どんなことを望んでいるのか。また町長として町の婦人に何を望んでいるのか。お互いに意見交換する中で、よりよい小須戸町を築くための話し合いをいたしました。

### 町政に関する質問や要望をお聞かせください。

### 分館独自の館があつたらなあと思つたのですが……。

〔司会〕では、皆さんから町の行政に関する質問や要望を出していただき、その後町長さんから答えていただくという形式で進めてみたいと思つています。

#### 施設・設備関係



皆川さん

五十田さん

板井さん

森田さん

◇小須戸分館婦人学級では、月一回ずつ中央公民館をお借りして勉強会などを開いていますが、お借りできる日が制約され活動が思うにまかせないので、横川や新保のように気軽に利用できる分館独自の館があつたらなあと思つています。

〔町長〕農村部は、集落開発センターを作るという県の事業の一つの中で進められているので補助金がもらえるのです。町部にはそういうものがないのでどうしても取り組みがむずかしくなりますね。分館活動が気楽にできる集会所はたしかに必要ですね。集落開発センターの対象にならないう所は、コミュニティセンターというのがあるので地域の人が盛り上がりつつ作ろうという事になれば、私達も応援するのによぶさかではありません。先ず地域の方々と話し合

着手しますが時間がかかります。◇老人福祉センターの小屋の使用料が八百円から急に二千円に値上げされて利用しにくくなったのですが、値下げをしていただくわけにはいかないものではないでしょうか。

〔町長〕これは、行革等の問題で、六十年に使用料・手数料等の見直しをし、今年度から値上げをしたわけですので、今値下げをするという考え方は持っておりません。

### 以前のよう妊産婦用のミルクの支給の復活を……。

#### 母子の保健に関して

◇食生活改善推進委員会では、「母乳で育てよう」という運動を進めていますが、現実には働く母親にとっては勤務中授乳するという事はなかなかむずかしいようです。せめて町長さんの方から小須戸の企業主に授乳時間を有給で与えるよう働きかけていただけませんか。

〔町長〕母乳を与える時間というのは、役場あたりでは公的に認められているが、実際に活用する人はあまりないようです。職場に子供を連れてくるのもなかなか大変でしょうし、母乳をしばらく冷蔵庫で保存するという方法もあるそうですが……。

◇ミルクの支給についてです。以前は小須戸町全部の妊産婦さんに支給されていましたが現在は、限られた一部の方にしか支給されていないので、全妊



懇談会出席者

- 五十田サチ(中央町4) 交通安全母の会
- 森田 芳江(若葉町1) 食生活改善推進委員協議会
- 板井 悦(新栄町2) 連合婦人会
- 高橋 キヨ(本町1) 商工会婦人部
- 風間 幸子(新町1) "
- 高野 律子(横川浜) 農協婦人部
- 城丸 スミ(天ヶ沢2) 老連婦人部
- 皆川イミ子(若葉町3) 小須戸分館婦人学級
- 中野 房子(横川浜) 横水分館婦人学級
- 山口マスノ(天ヶ沢2) 矢代分館婦人部
- 町長 豊田泰賢
- 司会 知野利和(中央公民館)

### 水田方面のバスのことですが……。

#### 道路・交通関係

産婦への支給をぜひ復活させてほしいと思つています。ミルクは栄養的にも完全食品と言われて居る方です。以前はたしかにやっていたのですが、もういいのではなかつたかという事で各地とも廃止されてきました。町でも非課税世帯にだけ現在も支給されていますが一般世帯には支給されていません。必要なことは必要なのではないかと行革や財政の問題等ともからんでくるので今の所復活は考えていませんので、何とか了解していただきたいと思つています。

◇小さい道にも消雪パイプをつけてもらえないものでしょうか。ブルが通って除雪はしてくれませんが道が狭くて雪のやれ場がなく近所同志で気まずい思いをする事もありますので……。

〔町長〕消雪パイプの設置は、いろいろな設備や道路舗装などをやり、なかなか経費がかかります。狭い道の不自由さもよくわかってはいますが、年次計画で

◇水田方面のバスのことですが朝晩の通学バスが一本きりで大変不便になったのですが、せめて日中もう一往復通していただけないものでしょうか。

〔町長〕これについては新潟交通が企業の立場で考えて六十年にバス路線の再編成をやったわけです。その際、新潟・小須戸間については直通しないで酒屋で打ち切りということだったので、本数は減つたが一方で、本数は減つたが一応新潟・小須戸間は直通にしてもは全面廃止というのを無理に頼んで一本だけ通してもらったのです。しかもそれは六十年だけという条件つきで。だからこの一本もこの三月三十一日限りのわけですが、目下、来年度も何とか継続して欲しいとお願ひをして居る最中なので、これ以上の増発は無理だと思つています。

◇交通量の多い通学路に消雪パイプを設けてほしいと思つています。学校へ児童・生徒が安心して行けるように考えていただけませんか。

〔町長〕消雪パイプの問題については先程お話ししましたが、皆様の言われることは充分理解できますが、年次計画で進めてお



# よりよし



中野さん



高橋さん

## 工場誘致をぜひお願い したいのですが…

### 小須戸町の今後 の発展に関して

◇小須戸町の商工業の発展のためにぜひ工場誘致をお願いしたいと思っております。

それからも一つ市場の件ですが、公設市場になってから本町通りがさびれて商店街に活気がなくなりまして、町全体の発展のためにも本町通りに市場が開設できるような方法を講じていただけませんか。

◇農協婦人部の立場からも、ぜひ工場誘致をお願いしたいと思っております。農家でも、高い農機具

を買ひ、その上減収でとても農業所得だけではやっていけないので現金収入を求めて町へ出ていきますが、兼業する上からも通勤時間の少ない町内で農業後継者が働けるよう、工場誘致をお願いいたします。また、若い者が町に残るといふ上からも町の発展につながると思っています。

(町長) 工場誘致については、私も常に考えています。今国道四〇三号線の用地買収が進んでいますが、工場誘致もこれと組み合わせる考えていかなければならぬと思っております。土地の値段が高ければ又、なかなか

面から考えて、できない相談かもしれません。自然を生かした特色ある小須戸町文化会館でもでんと作って、新潟あたりから人も人が流れてきてくれるようなことができたなら夢のようなことを考えています。

## これからの花と緑の町の目しへんを 考えましょ。りゅう。

### 小須戸町の将来を語る

(司会) 次は話題を少し変えまして小須戸町の将来を考えると、いろいろな角度から話を進めてみたいと思っております。将来を考えると、言ってもなかなか広うございまして、私の方で少し話の切り出しをさせていただきます。

◇五月には「花と緑の町」といふことで催しが持たれるようになりまして、あれだけの人が集まってきたが、活気が出るわけですから、人の流れとい

う面から考えて、できない相談かもしれません。自然を生かした特色ある小須戸町文化会館でもでんと作って、新潟あたりから人も人が流れてきてくれるようなことができたなら夢のようなことを考えています。

(町長) 小須戸小学校跡地をどう利用していくかというふうなことも今、検討中なので、今のようない意見も含めて今後検討していきたいと思っております。

◇商店街では他町村からの客が少ないので、内需拡大でよそへお金を落とさないで、「町から買って下さい」という風なキャッチフレーズでも宣伝したらどうなるでしょうか。

◇五月のゴールデンウィークには「花と緑の小須戸町」ということで、町外からでもど大人が入って来ますが、この事実を大切にして一層盛り立てる努力を重ねたいと思っております。

(町長) これを始めてからもう六年経つわけですからこの辺で



高野さん



城丸さん



山口さん



風間さん

誘致もできません。今、構想としては天ヶ沢(大沢)地内の土採取場付近は非常にいい場所じやないかと思っております。そんなことを頭に入れながら工場誘致というものに対応していかなければならぬと考えています。

町部はどうかと言いますと、いつも下町の発展ということが言われますが、今、新潟交通の車庫の裏に副塚が作られていま

でも「会場へはどう行くんですか」とよく聞かれました。時期に合わせて宣伝と案内をもっと大々的に、ていねいにやったりどうでしょう。町の入り口に常時大看板を立てておくのもいいと思います。

(町長) 皆さんのこの意見を、花いっぱい運動の委員会に出して検討しましょう。

◇町民がみんな丸になって花と緑の小須戸町をもっと盛り立てていきたいと思います。予算の面も、もう少し充実させてい

たいです。

◇五月の催しも、もっとピーアールして大きな看板を立てたり町の要所要所に道案内板を立てたりしたらどうでしょう。今ま



＝毎年、5月の上旬に  
行なわれる植木盆栽祭＝

## 町長より小須戸町の婦人への 要望として…

(司会) では、最後のまとめとして町長さんから小須戸の婦人に望むものということでお願いいたします。

(町長) 町の仕事をしていく上でも活気を与えてくださるのは婦人の皆様です。私がお願したいことは町全体の婦人の力を結集して組織的に町のいろいろな活動を取り組んでいただきたいと考えています。ところで山の手地区に婦人会の組織がないというのですが、その辺のところの見直しを図っていただき

約二時間にわたる懇談会は、はじめから終わりまで熱心な討議が進められました。日常の身近な課題から小須戸町の将来構想まで話が展開し、よりよい町づくりへの一つの方向が見い出されました。また来年もこういうよい機会をもってください。という出席者の声もあり、大変有意義な懇談会となりました。

## スポ少指導者 研修会開かる

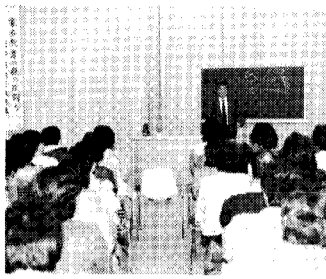
小須戸町スポーツ少年団指導者協議会(会長星田金雄)では二月十六日(日)に昭和六十年年度指導者研修会が開催されました。

本町には九十九名の公認スポーツ少年団指導者があり、日頃子供達の健全な育成及び実技指導に当たっております。今回の研修会は県スポーツ少年団本部長長瀬三郎氏をお招きして「育成母集団と指導者の役割」と題して講義を頂きました。多数の指導者の方々の参加を得、誠に意義深い研修会でありました。



# 分館だより

以上の結果と皆様方からの要望に依るべく、今秋再度この種の講演会を開催します。その節は女性のみならず父兄のご出席をよろしくお願い申し上げます。(小須戸分館長)



## 小須戸分館

### 家庭教育講演会の開催結果について

三月二日に中学PTAと共催で開催しました「家庭教育と親の役割」と題した講演会は、講師が著名な花積正夫先生でもありましたが参加者は三〇〇名を超える大盛況で、公民館三階ホールが満杯となりました。このことから私共は新たな感動を覚えた次第であります。

それは、近年大きな社会問題となつていく校内暴力、いじめ登校拒否、受験問題そして悲惨な事件の発生など...しかしながら、わが小須戸町においては家庭教育の重要性が他に比して深く理解され、かつ熱烈なる母の愛情があることに。

## 横水分館

### 一年を振り返って

残雪厳しく春のおとずれが待たれる二月二十五日、横水分館婦人学級は一年のしめくくりとして閉鎖式を横川浜集落開発センターで行ないました。

ふり返り学習するには、夜の時間帯で行い各地域ごとの違いはありますが四ヶ地区が一体となつて大勢で学習する事が村作りの輪を広げる一つではなかつたでしょうか。これもひとえに館長さん始め各先生方、事務局さんの御協力のためものと深く感謝申し上げます。閉鎖式の夜は水つような日で身の引きしまる思いの映画を見て頂き一年の締めくくりを迎え本年に有難うございました。これからも尚いっその御指導と御協力を重ねてお願い申し上げます。



## 水田老人クラブ三月の学習

日時 三月十九日(水)午後一時三十分より  
会場 水田集落センター  
内容 「交通安全」ほか。

日時 三月十七日(月)午前九時三十分より  
会場 横川浜集落開発センター

## 矢代田分館

○分館役員会を三月下旬から四月上旬の予定で、矢代田小学校を会場に開催します。

○矢代田寿会定例総会  
日時 三月二十二日(日)午前十時より  
会場 矢代田公会堂  
内容 昭和六十年度の報告及び六十一年度の計画。その他。

## 新規生徒新会員募集

### 短歌初心者教室のご案内

中央公民館では、短歌の初心者教室を四月より開催いたします。この機会に興味のある方はぜひご参加ください。

期日 四月二十二日(火)より

毎月第四週の火曜日に開催  
午後七時三十分より九時まで  
期間 四月より三ヶ月間  
会場 中央公民館二階会議室  
参加費 千円、その他テキスト代は実費となります。  
定員 二十名、定員になり次第お切りさせていただきます。  
講師 矢代田小学校長 伊藤 照漢先生  
主催 中央公民館

尚、初心者教室終了後、その後の運営について会員と中央公民館で相談します。

小須戸町卓球協会  
老若男女、上手下手、いつでもにかまいません。卓球は手軽にできるスポーツです。みんな楽しんでみましょう。お待ち致します。

日時 毎週水曜、日曜日の二回  
午後七時三十分より九時三十分  
会場 町民体育館  
会費 月額四百円

詩吟クラブ  
詩吟は健康によく、心身の修

## 盛り沢山の催して一日を満喫

### 高齢者お楽しみ大会

小須戸町老人クラブ連合会主催による恒例の「お楽しみ大会」が、去る二月二十三日(日)中央公民館三階において、午前十時より開催されました。

当日は、好天のせいもあり昨年より多い約四百名が参集しました。ステージでは、賛助出演のカラオケクラブや民謡保存会の応援をうけて唄や踊り、尺



八、大正琴、加えて寸劇や浪曲も飛び出しました。盛り沢山の内容で、大勢のお年寄りから楽しんでいただき、長い冬の日を満喫してもらいました。(老連広報部)

指導者紹介  
日本ゲートボール連合に登録された審判員

去る三月三日(月)亀田町の町民体育館にて、ゲートボール審判員認定地方講習会が行なわれ、受講した次の方々合格し三級の審判員に登録されました。

武藤武治 野崎定治 高山仙一 上田喜四郎 諏訪間四郎治 一本館誠策 渡辺カツイ 藤宮正雄 吉田源吉 鈴木ハナ 島原喜一郎 長井要吉 小林省衛 本多弘次 小林博二 今後、ゲートボールの振興に指導者として活躍ください。

## ギターにリコーダー(縦笛)に 小学校教師として活躍中の佐藤喜代一さん!



花園町二丁目にお住まいの佐藤喜代一さんは、新潟市上戸小学校の先生です。今年一月十二日、佐藤さんが指導されている

上戸小学校リコーダー部が東京都郵便貯金ホールに於て、子供音楽コンクール東日本優秀演奏発表会に参加し、みごとに最優秀賞に選ばれました。

「最優秀賞受賞おめでとうございませう。受賞の時の感想を一言、正直いってうれしかったです。初めての参加でしたので喜びもひとしおでした。」

「指導するにあたって苦労された点などありますか。」

「僕と子供達の練習時間がなかなか合わないことでしょうか。」

「佐藤さんご自身の目標は?」

「僕達大人より子供の方が、イメージを表現したり、音楽を感じたりする能力は遙かに秀れています。そういうメンタルなものに裏付けられたテクニックを磨きたいですね。それとリコーダー仲間を増やすことかな。」

佐藤さんは小須戸町のギタークラブの会員でもあり、ギター熱心な指導者でもあります。笑顔が優しい三十三歳、ギターにリコーダーに益々の御活躍を期待いたします。

## 催しものご案内

定期映写会のご案内  
参加者が増えてきて喜んでます。ぜひ親子揃ってどうぞノリノリです。

期日 三月二十六日(水)午後七時三十分より九時三十分  
会場 中央公民館二階視聴覚室  
上映映画 〇カキ大将先生、〇

あんにゅとすしお、〇大造じいさんと雁、外一本。  
歌謡バラエティショー  
日時 四月五日(土)午後七時  
会場 中央公民館三階ホール  
入場無料

主催 K・R・C  
第四十八回町民魚つり大会  
日時 四月十三日(日)午前五時  
四十分中央公民館前  
場所 内野町地内(新川)  
参加費 五百円  
〇切日 四月十日まで中央公民館へ。

## 川柳教室作品

### 題「卒業」

道楽はもう卒業と独り耐む親のすねかじり尽して卒業し卒業の吾が子と並びハイチーズそんな事卒業したと悟り顔卒業を待つていました婚約者卒業が吾が子離れの始めなり脛かじり吾が子を祝う卒業日老クラブ卒業なしの安心生いじめつ子いじめられつ子も別れ老いたれど卒業の無い我が人生一枚の証書に重い思ばかり卒業を待つ親ありて今日も飲み卒業で勉学共に置いてくる現代子いじめ単位も取り卒業

高丸ルミ子 高橋 佳子 高橋千恵子 木村 秀子 保科あゆみ 安達 聡子 内山 香 白井 美和 高山 明美 野崎 佳恵 藤井 理子 丸山 幸子 吉田 裕子 井上ひろみ 上田あゆみ

信子 幸平 清子 玲子 春江 武雄 源吾 ただし 米二 利和 常信

## 中学生文芸

### 俳句クラブ作品

三年の学び舎今ぞ果立つ時友人に寄せ書き頼む卒業期入学の頃思い出し卒業す卒業期別れる友のサイン帖カレンダーめくれば開近卒業式卒業生校門を出てふり返る先輩に寄せ書き贈る卒業期卒業生拍手の列に見送られ昨年のあの卒業生あの握手寄せ書きを友と読み合う卒業期卒業に贈ることを紙に書き卒業生わずかな日々を送り贈り果立つ時先輩たちに言葉贈る運動会盛り上げてくれた卒業生

松山 可津明 香月 太浪 久子 野萩 虚秋 素糸 越楼 良遊 秀穂 富沙子 美根子 露春

## 二月例会作品

### 小須戸町俳句同好会

無為に生きハレー又見る春を賜う福寿草日記の空白続きけり真中に母置き振らる小正月新編は一日雨と初日記編棒に合掌しつつ妻眠る陽を追うて福寿草の鉢うつしけり寒の耐ぐるぐる巻きの昆布の芯耳遠き老医の一語日脚伸ぶ京壁に雪の明りの翁面大寒や鼻緒のかたき宿の下駄床軸の富士の裾野や福寿草福寿草揃えてありし女靴魔除札斜めに貼って寒に入る冬帽の人に戸惑う逢会釈初笑い種こぼしけり子の手品

松山 可津明 香月 太浪 久子 野萩 虚秋 素糸 越楼 良遊 秀穂 富沙子 美根子 露春

## 短歌

如月の雪降り止まぬ富陽に困う大根を探り疲るるはだら雪降りつたべに古巻を並べし吾娘はとつ国にあり 伊藤照漢 加藤 茂